

授業改善推進プラン 図画工作科

東大和市立第七小学校

学習規律等	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く、つくるなど、活動の切り替えをして、集中して取り組むことができるようとする。 自他の作品・表現の扱い方を考え、大切にできるようとする。 用具や材料の正しい扱い方を学び、安全に使えるようとする。 		
	今年度の課題 (育てたい資質・能力)	具体的な授業改善 (主体的・対話的で深い学びの視点を中心に)	評価
一年	○学びに向かう力、人間性等 身近で扱いやすい材料や用具に慣れ、楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組めるようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具の扱い方について、ICT 機器などを活用して丁寧に説明し、個別指導により全員が適切に扱えるようにする。 表現と鑑賞の指導を通して、色や形の違いに気付くことができるようする。 	・
二年	○学びに向かう力、人間性等 自分の考えを表すことに不安を感じて活動が止まってしまうことがある。手や体全体の感覚を存分に働かせて、つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組めるようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具の扱い方について、ICT 機器などを活用して丁寧に説明し、個別指導により全員が適切に扱えるようにする。 表現と鑑賞の指導を通して児童の発想を認め、児童が様々な表現の楽しさを感じられるようする。 	・
三年	○知識及び技能 造形的なよさを感じてつくることに個人差がある。手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、工夫してつくりだせるようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 材料や用具の正しい扱い方を丁寧に指導し、繰り返し扱うことで、自分の表現に活用できるようする。 色や形のよさを感じられる機会を増やす。相互鑑賞や、個別の声かけで造形的なよさを伝える。 	・
四年	○思考力・判断力・表現力等 自分の思いを生かしながら表現をすることに個人差がある。工夫する楽しさや、自分の思いを表現する喜びを感じられるようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な材料や学習過程を経験できるような題材の設定をする。 自分のイメージをもちやすくするために、自分の思いを言葉や簡単なスケッチなどで表したり、材料を触ってみたりする時間を設定する。 	・
五年	○思考力・判断力・表現力 造形的な知識や技能は身についている。自分なりの思いや意図を主体的に・創造的に表す力を育てたい。	<ul style="list-style-type: none"> 様々な材料や用具を選択して使用できるように環境を整える。 相互鑑賞では、どんなことを感じたか、自分の工夫や自分らしいところはどこか、など言語化して振り返りに取り組む。 	・
六年	○学びに向かう力、人間性等 自分の思いを造形的に表すことを楽しみながら取り組んでいる。さらに試行錯誤することや、粘り強く取り組むことにより表現を深めることができるようとする。	<ul style="list-style-type: none"> 試行錯誤を促すために、アイデアスケッチや試作の時間を設ける。 途中段階で対話の時間を設け、他のアイデアに触れる。 制作過程を振り返り、自己評価・自己表現につなげる。 	・